S A M E G A W A

さめがわ

［広報］ 鮫川村広報誌

No. 583
平成14年11月1日発行
NOVEMBER 2002
11

特集◉

子どもたち、学ぶ。



■トピックス＆インフォメーション
ふくしま駅伝鮫川村選手団紹介 ほか

■ほっとニュース
高原の鮫川うまいもの祭り
赤坂西野区ふるさと相撲大会 ほか

［表紙写真］
小学６年生の交流宿泊学習から



自然の中で学ぶ子どもたち（小学６年生の交流宿泊学習から）

特集◉

子どもたち、学ぶ。

今年四月から、毎週土曜日を休みとする「完全学校週五日制」が実施され、子どもを取り巻く教育環境が大きく変化してきました。

学校の授業も大きく変わり、「総合的な学習の時間」が新設されるなど、ゆとりの中で子どもたち一人ひとりの「生きる力」を育てることを重視した教育内容に変わりました。

そして、子どもたちの学校外での時間が増えた分、家庭や地域の役割がますます重要になり、学校教育とは違った活動や体験の機会が求められています。

完全学校週五日制が始まって七カ月。

今月は、小学校での新たな取り組みと合わせて、さまざまな活動を通した子どもたちの「学び」に注目しました。

育て！子どもたちの「生きる力」

学びの場所は、教室だけじゃない。

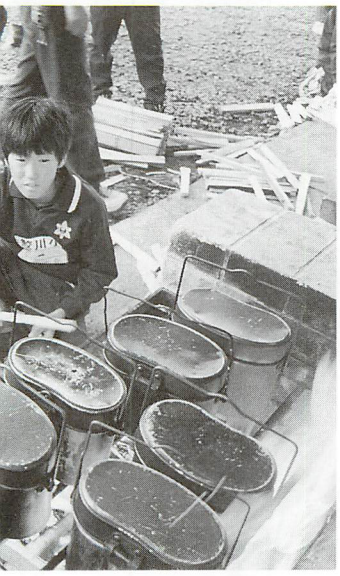


※「生きる力」とは？

・子どもが自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力
・自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力

体験型の活動を通して、鮫川村の良さを知る

総合的な学習の時間　交流宿泊学習





友情の輪が広がりました



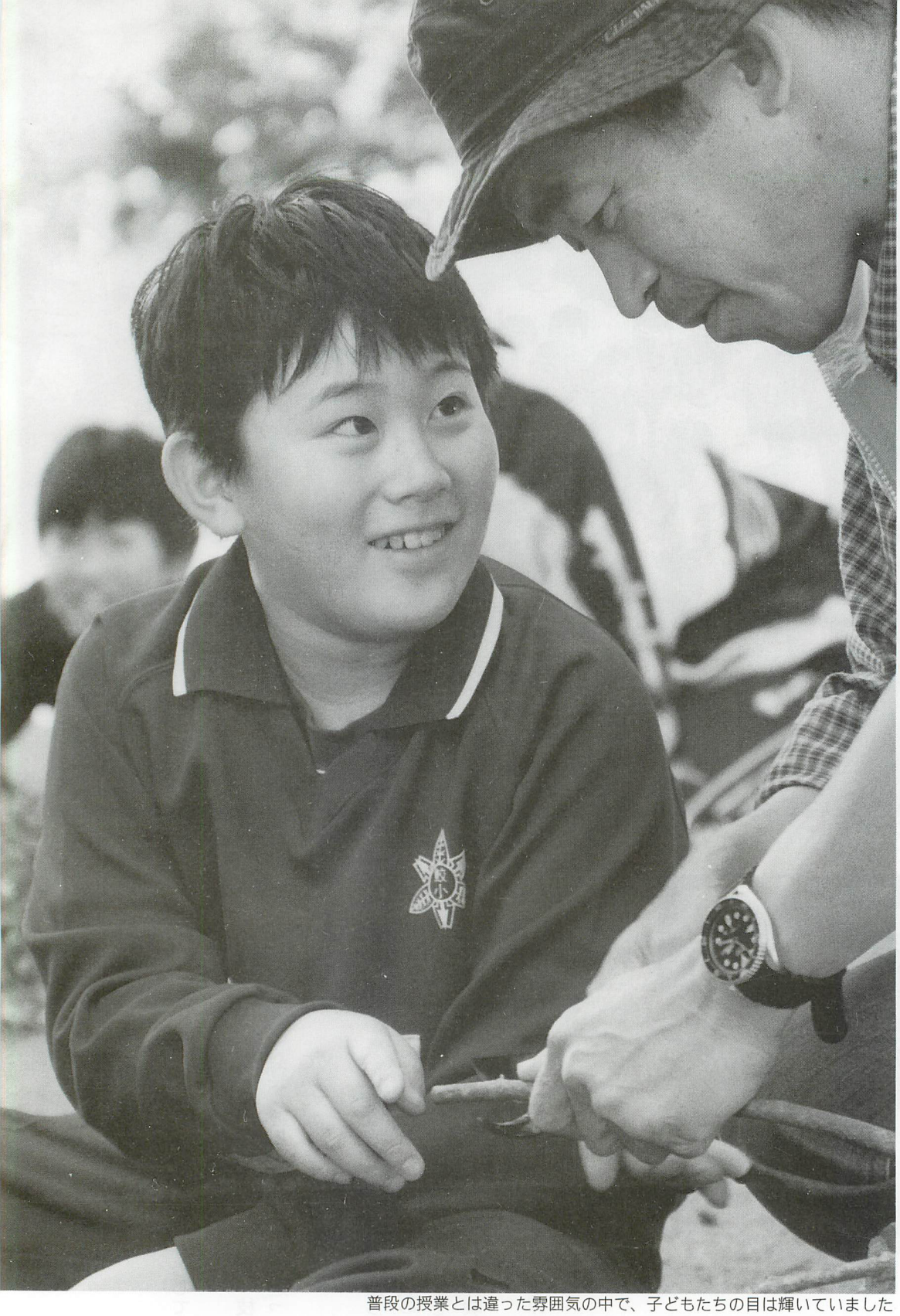
自然観察は楽しい発見がいっぱい

完全学校週五日制の実施に併せて、文部科学省が定める「学習指導要領」も改訂されました。新しい要領では、ゆとりの中で子どもたちの「生きる力」を育成するために、体験型の学習や問題解決的な学習を重視した「総合的な学習の時間」が新設されました。

村小中学校校長会では、この総合的な学習の時間の一環として九月十九・二十の二日間、村交流施設「ほっとはうす・さめ



木登りもしたよ



普段の授業とは違った雰囲気の中で、子どもたちの目は輝いていました

飯ごうを使った炊飯に挑戦





もちつきを体験する子どもたち

がわ」と鹿角平観光牧場で、小学六年生を対象とした「交流宿泊学習」を行いました。村内六つの小学校から合わせて四十二人の児童が集い、体験活動を通して交流を深め合いました。

5つの自然体験活動

交流宿泊学習は、「主体的・創造的な探求活動を通して一人ひとりに生きる力を養う」という目標のもと、五つの自然体験活動がカリキュラムに組み入れられました。

自然観察案内人の三瓶稔さん（赤坂東野字葉貫）、進士徹さん（同）、鈴木一さん（富田字鍬木田）のほか、村内の天文愛好会やパラグライダークラブ・風舞花世（かぜまかせ）のメンバーが子どもたちの指導に当たりました。

二日間で行われた主な活動プログラムは次のとおりです。

1日目　開村式・オリエンテーション、自然体験活動①～④（森林観察、木工教室、野外炊飯、鹿角平で星の観察）

2日目　ラジオ体操（朝の集い）、自然体験活動⑤（パラグライダー教室）、閉村式



交流宿泊学習に参加した42人の小学6年生



子どもたちのいきいきとした表情が見られた2日間でした

有意義な2日間

今年度、初めての試みとして行われた交流宿泊学習。

村小中学校校長会の中島一枝会長（鮫川小校長）に振り返っていただきました。

■

「交流宿泊学習は、子どもたちに自分たちが住んでいる地域の良さ、自然環境の素晴らしさを体感してもらおうと、自然体験活動を中心に計画しました。

また、集団活動を通して規律を守り、自主的に活動する態度を養うという観点から、自分で考え、判断しながら行動できるよう、先生はなるべく手を出さないように心がけました。実際、子どもたちを見ていると、お互いに助け合いながら行動する姿が見られましたし、活動の中から友情の輪を広げることができたように思います。

普段の生活ではなかなかできない貴重な体験をすることができ、また、友達がたくさんできたという声も聞かれ、子どもたちにとって、とても有意義で楽しい二日間だったようです。

今回、「ほっとはうす・さめ



村小中学校校長会
中島　一枝会長
（鮫川小校長）

特集◉
子どもたち、
学ぶ。

子どもたちの声

青生野小

■自然が豊かな鮫川村の良さを改めて感じました。班の友達と話ができてよかったです。（生田目愛弓）

渡瀬小

■宿泊学習で一番楽しかったのは、鹿角平での天体観測でした。月がきれいでした。（山形悠介）

■いろいろなことを学べたり、パラグライダーやカレー作りなどで友達と遊べてよかったです。（小松雄太）

■一番楽しかったことは、パラグライダーをしたことです。飛べるか不安だったけど飛べました。（蛭田光）

■パラグライダーやカレー作りが楽しかったです。三瓶さんも楽しかったです。（蛭田真吾）

■みんなとパラグライダーをやって楽しかったです。かなり高く飛んだので気持ちよかったです。（小松聡）

■交流宿泊学習を通して、村内の６年生のいろいろな人と友達になれたのでよかったです。（藤田睦希）

■たくさんの人と友達になれたので、また全員でいろいろなことをやりたいなと思いました。（藤田睦美）

■私は午後からの参加だったけど、とても楽しかったです。木工教室が一番楽しかったです。（高久恵美）

富田小

■森林観察で、花や草の名前の由来をたくさん知ることができ、勉強になりました。（戸室優理）

■パラグライダーで飛んだとき、予想していたより何十倍も速く飛んでびっくりしました。（鈴木祐介）

■交流宿泊学習で他の学校の友達と話して、仲良くなれたことがとてもうれしかったです。（渡辺マリ子）

■パラグライダーで飛んだときは、ふわふわ体が浮いて、まるで宇宙にいるようでした。（小嶋佳承）

■パラグライダーの飛び心地は最高でした。おかげで高所恐怖症がなくなりました。（坂本誠也）

西野小

■木の葉の裏がＹの字になっているとヒノキだということが分かり、勉強になりました。（北條賢矢）

■他の学校の人と交流したり、星の観察をしたりして楽しかった。よい思い出になりました。（増谷友里恵）

■交流宿泊学習で、第一に自然のすばらしさを学びました。友達もでき、楽しかったです。（石井あゆみ）

■パラグライダーで空を飛んだのが、一番楽しい思い出になりました。（高坂美里）

■天文台で月を見たときが楽しかったです。とてもきれいでした。でも寒かったです。（白坂直美）

西山小

■一番楽しかったのは、夕飯のカレー作りです。友達と久々に会いました。よかったです。（大竹良子）

■宿泊学習で学んだことは、自然を大切にすることと、人とふれ合うことだと感じました。（生田目綾奈）

■久しぶりに友達と会いました。いろいろなことができて、とても楽しかったです。（関根千弥）

■昔の友達と会い、とても楽しい時間をすごせて楽しかったです。（松崎清訓）

鮫川小

■ふだんできないパラグライダーやもちつきができて、とてもよい思い出になりました。（金澤秀和）

■パラグライダーにのれたし、飛べてよかったです。（田中翼）

■交流宿泊学習で、友達がいっぱいできてよかったです。（圓井敏彦）

■交流宿泊学習で、いろいろな学校の友達と会えてよかったです。（前田龍之介）

■ふだんできないことができて、よかったです。（圓井佑樹）

■友達ができて、とてもうれしかったです。（中川西剛史）

■パラグライダーで、思ったより高く飛べてよかったです。（湯座勇太）

■友達ができてよかったです。中学校で会えるのが楽しみです。（塩田正輝）

■友達がふえて、よかったと思います。（矢吹浩登）

■交流宿泊学習では、日常にあまりやらないことやできないことができてよかったです。（田子智也）

■パラグライダーで、うまく飛べなかったけど一番楽しかったです。（高木勝人）

■楽しくすごせたのでよかったです。（高木涼）

■パラグライダーがうまく飛べてよかったです。友達となかよくできてよかったです。（円井勝）

■パラグライダーにのることができてよかったです。（舟木靖詞）

■２日間、楽しくすごせました。友達もできました。（宗田竜也）

■パラグライダーで、うまく飛べてよかったです。（芳賀真里菜）

■最初はあまり話さなかったけれど、だんだんいろんな人と話して、とても楽しかったです。（須藤詩織）

■友達がたくさんできてよかったです。それと、山登りに行ったのがとても楽しかったです。（矢吹友美）

■友達ができていっしょに話せたり、仲良くなったので楽しかったと思います。（高木智美）

「うまく飛べたよ」と笑顔の高久恵美さん（渡瀬小）





好評だったパラグライダー教室

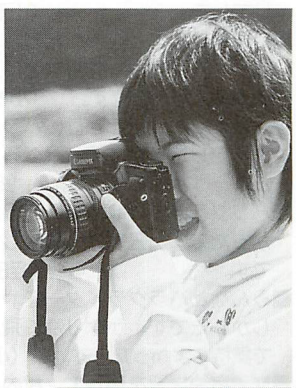
がわ」のスタッフの皆さんをはじめ、ご指導くださった地域の方々、パラグライダークラブや天文愛好会の皆さんなど、多くの方々のご支援により実施できましたこと、本当にうれしく思っています。村の人たちとのかかわりの中で、子どもたちはたくさんのことを学ぶことができたと思います」（談）

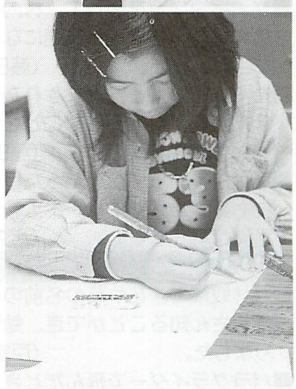
企画、取材、編集…
私たち村の広報ウーマン

チャレンジスクールⅡ　子ども記者倶楽部



写真選びも大切な作業です





上／写真撮影をする友里恵さん
下／紙面の割り付け作業をする詩織さん



校正作業で最終チェック。「完成が楽しみ」と二人

村公民館が完全学校週五日制対応事業として実施した「チャレンジスクールⅡ・子ども記者倶楽部」が九月二十八日に開講し、二人の小学六年生が広報紙づくりを体験しました。

講座に参加したのは、増谷友里恵さん（西野小）と須藤詩織さん（鮫川小）。村広報担当が講師となり、広報紙ができるまでの作業を学びました。

初回は、広報紙づくりの流れや取材の仕方、記事の書き方などを学んだあと、取材のテーマ



子ども記者倶楽部に参加した須藤詩織さん（左）と増谷友里恵さん（右）

を「鮫川村の農家」とすることに決めました。

第二回目の十月五日には、実際にカメラと取材ノートを持って、農業を営んでいる圓井勝夫さん（赤坂中野字取上、69歳）を取材し、記事の執筆に取りかかりました。

十月十二日には紙面の割り付け（レイアウト）、二十六日には印刷前に文字の間違いがないかなどをチェックする校正を行い、すべての作業が終了しました。

二人の子ども記者が、限られた時間の中で企画から編集まで手がけた紙面は、次のページに掲載しています。子どもの視点で書かれた記事です。じっくりとご覧ください。


取材に応じてくれた圓井勝夫さん（左）

このページは、

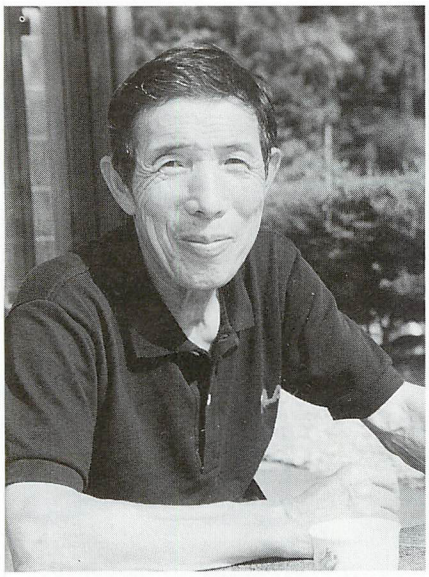


わたしたちが作りました。

特集◉
子どもたち、学ぶ。

収かくの時期、今年も笑顔。

私たち「子ども記者倶楽部」は、鮫川村の農家を取材することにきめ、十月五日、圓井勝夫さん（赤坂中野字取上、六十九歳）の家をたずねました。圓井さんは、私たちに笑顔でやさしく話をしてくれました。



圓井　勝夫さん

私たちが取材した圓井勝夫さんは、五十三年も前から農業をやっていて、二ヘクタールの田んぼでお米をつくっています。

「おじいちゃんらが子どものころは、あまり食べるものがなくて、農業をやらなければ生活ができなかったんだよ」と圓井さん。

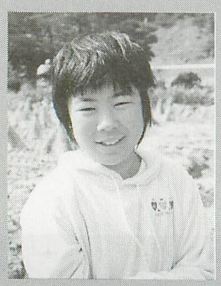
今は、ほとんど機械を使って作業をしていますが、昔は何もかも手作業だったため、とても大変だったそうです。田植えや稲かりなどは、今は土・日曜を使って一日から二日で終わりますが、昔は四人で十五日もかかったといいます。また、朝の三時ごろから夜の十時ごろまで仕事をしたときもあり、夜はたいまつやガスランプで照らしながら作業をしたそうです。

昔の田んぼは一まい一まいが小さくて、全部で五十四まいもあったそうです。でも、今は機械が入れるように田んぼを広くしたため、十二まいになっています。だれでも農家をつげるように、機械で楽に仕事ができるよう工夫してきたそうです。

圓井さんの家ではちく産もやっています。らくのうを三十年間やってきましたが、乳をしぼる時間には帰ってこなければならないという大変さがあったため、今は肉牛を飼っているそうです。そして、牛のたい肥を田んぼに入れて、なるべく化学肥料を使わないで、お米がたくさんとれるようにしています。

そんな圓井さんに、農業をやっていてうれしいことを聞くと、「一生け

楽しかったです



増谷友里恵

広報紙づくりは、むずかしいこともありましたが、楽しかったです。むずかしかったところは、取材と写真えらびです。取材のとき、はじめに聞くことを考えていきましたが、なかなか思い出せずたいへんでした。写真えらびは、どの写真を使うのか決めるのがむずかしかったです。自分たちの手で広報がつくれてうれしいです。

いい経験になりました



須藤　詩織

子ども記者倶楽部のお知らせが来たとき、どうしようか考えましたが、おもしろそうなのでやってみました。話し合いやテーマを決めるときには長い時間を使いましたが、取材はあっという間でした。私の話がとぎれても、圓井さんはいろいろな話をしてくれました。考えたり、取材をしたり、私にとっていい経験になりました。

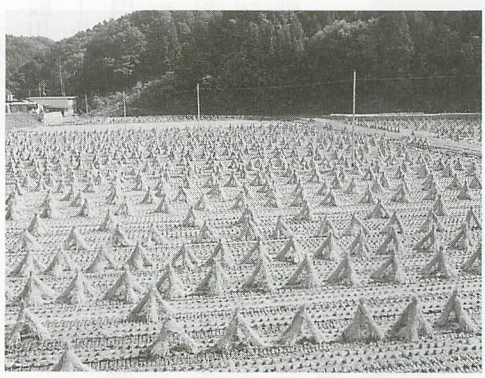


大型機械で稲かりをしている圓井さん

ん命作ったものが、秋の収かくのときにたくさんとれることがうれしいね」と笑顔で話してくれました。

今、私たちが見ている農業は、ほとんどが機械を使っているので、昔の苦労を知りませんでした。圓井さんの時代の人たちが苦労してきたから、今私たちがおいしいご飯を食べることができるのです。

農家のみなさん、ありがとう。



稲かりが終わった圓井さんの田んぼ



スポーツで鍛える体と心。協調性や礼儀も学ぶ

スポーツ少年団活動



目標に向かって活動する子どもたちのまなざしは真剣です

子どもの数が少なくなったことなどにより、異なる年齢の子どもたちが地域で一緒に活動することが少なくなってきています。そんな中、スポーツ少年団活動は、子どもたちが共通の目標に向かって活動し、体を鍛えるだけでなく、協調性や礼儀などを身につける絶好の機会ではないでしょうか。

村内には現在、鮫川（ソフトボール、バレーボール、冬期間はサッカー）、県南西山（ソフトボール）、渡瀬（ソフトボール）、少林寺拳法・福島鮫川の四つのスポーツ少年団があり、多くの子どもたちが活動しています。



練習は自主的に行います

その中から、鮫川スポーツ少年団ソフトボール部の監督として子どもたちの指導に当たっている舟木正二さん（赤坂東野字広畑、50歳）に話を伺いました。



鮫川スポーツ少年団
ソフトボール部監督
舟木 正二さん

「鮫川スポーツ少年団ソフトボール部には現在、小学三年から六年まで十九人の子どもたちが加入しています。子どもたちの指導は、部長、監督、コーチ三人が保護者で、そのほか地元の若い人たちがボランティアで協力してくれています。とても助かっていますよ。

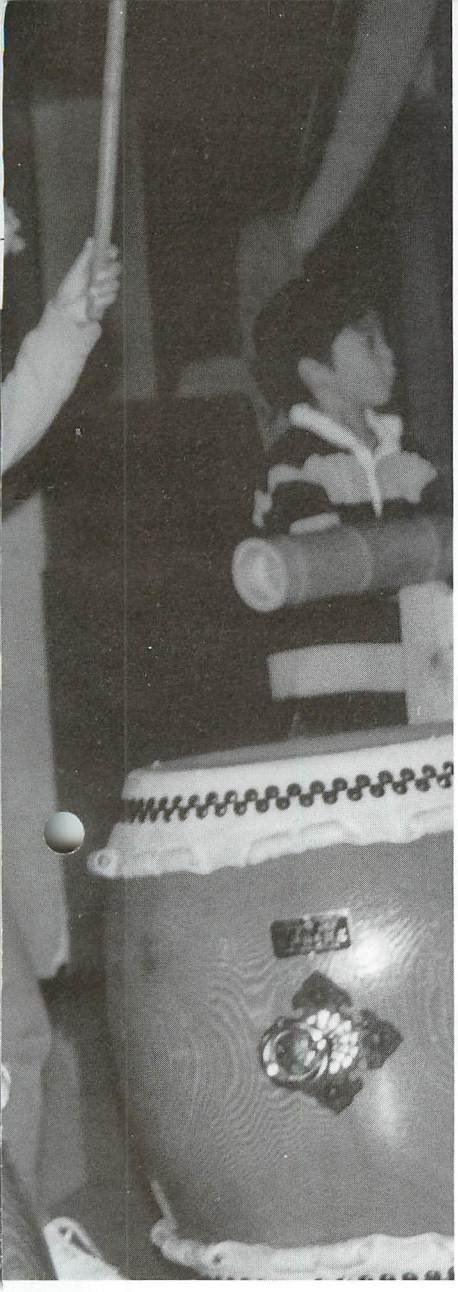
スポーツを通して心身ともに大きくなった６年生

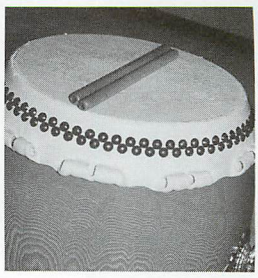
親に言われて加入したという子どももいますが、活動していくうちにどんどん体力もついてきたし、積極的に行動するようになってきたように感じますね。ソフトボールの上達はもちろんですが、スポーツを通じてチームワークや協調性、礼儀や言葉づかいなども学んでほしいと思っています。これらは将来、必ず役に立つことですからね。体も心も健康な人間に成長してほしいということですね。

試合での勝ち負けは二の次。でも、勝てばうれしいし、その喜びによって次の目標が生まれます。練習の励みにもなるし、その中から、子どもたちにスポーツの楽しさというものを感じてほしいですね」（談）



練習後のグランド整備も忘れません





太鼓で生まれる連帯感。みんなの心が一つになる

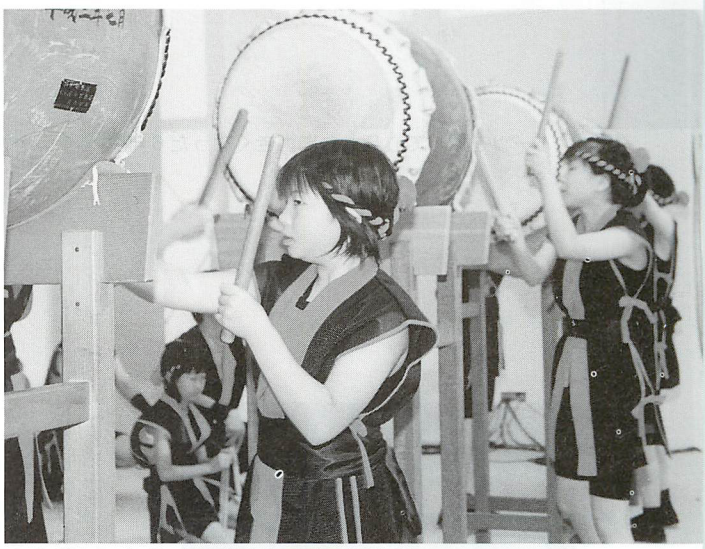
奥州鮫川太鼓保存会

地域での文化活動やサークル活動は、子どもたちにとって学校とは違う学習やふれあいの場となります。現に村内でも、地域活動を通してさまざまなことを学んでいる子どもたちがいます。奥州鮫川太鼓保存会の子どもたちです。

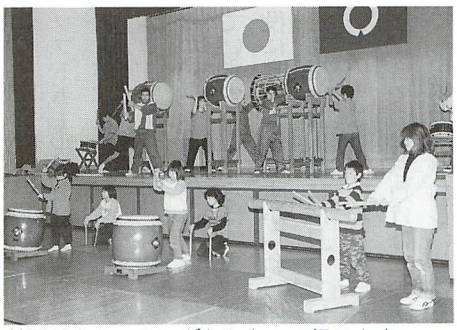
■

奥州鮫川太鼓保存会は、太鼓を通じて地域を活性化させるとともに、村に伝統芸能を残そうという機運が高まり、平成五年四月に結成されました。

保存会には、小学一年生以上



さまざまなイベントで演奏します（写真は、昨年の「うつくしま未来博」の舞台で）



練習はトレーニングセンターで行います



11月17日のコンクールに向けて練習に励む子どもたち

で意欲がある人ならだれでも加入できます。現在の会員は、小学生十一人、中学生二人、高校生三人、大人八人の合わせて二十四人。通常の練習は週に一度、農業者トレーニングセンターで行っています。

現在は、十一月十七日に双葉町で開催される「日本太鼓ジュニアコンクール福島県支部予選会」に向けて週三回の練習日を設け、一段と熱が入っています。

子どもたちは、日ごろの練習の成果を発揮できる舞台を経験することにより、勇気が自信となり、そして「やる気」へと変わるといいます。

「みんなの心が一つにならないと、人の心に伝わる演奏ができない。だから、子どもたちの中にも自然と連帯意識が生まれるんです。また、子ども同士のかかわりの中で、年上の子は先輩として年下の子の面倒をみるようにもなりましたね」と会長を務める芳賀良雄さん（渡瀬字江竜田、45歳）。

さらに続けて、「子どもたちが太鼓を通して学んだことは、将来、社会という大舞台に立ったときに発揮されることを願っています」



芳賀会長（中央）を中心に大人が指導

特集◉
子どもたち、
学ぶ。

村体育協会に文部科学大臣表彰

スポーツ振興などに功績



表彰状を手にする藤田会長

鮫川村体育協会（藤田一夫会長）は、十月十一日に東京都千代田区の霞が関東京会館で行われた「平成十四年度体育功労者・社会体育優良団体表彰式」で、社会体育優良団体（スポーツクラブ以外の団体）として文部科学大臣から表彰を受けました。

同協会は、昭和四十六年五月に設立以来、健康づくり夏季球技大会や村民駅伝競走大会、さわやか高原ロードレース大会の開催など、村内全域から幅広い年齢層の参加を得ながら、さまざまな事業を展開。村のスポーツ振興と村民の健康保持・増進に寄与した功績が高く評価されたものです。

無火災への誓い新たに

鮫川村消防団秋季検閲


検閲を受ける団員

鮫川村消防団（松本恵治団長、団員三百三十八人）の秋季検閲は九月二十九日、青少年広場で行われました。

無火災祈願の黙とうのあと、統監の芳賀村長が「住民の生命・財産を守るため、さらに消防技術の練磨に努めてほしい」と訓示。続いて、通常点検や機械器具点検のほか、中隊訓練、ラッパ隊訓練、消防操法訓練などが次々と繰り広げられました。

検閲終了後、分団対抗の水勢競技（放水訓練）が行われ、小型動力ポンプの部、ポンプ自動車の部の両部門で第五分団（東石）が優勝しました。

■ふくしま駅伝　11月17日(日)　午前8時スタート

がんばれ！鮫川村チーム

第十四回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は十一月十七日(日)、白河総合運動公園陸上競技場をスタート、県庁前をゴールとする十六区間、九五・四キロのコースで開かれます。

今年で十三回目の出場となる鮫川村チームの結団式は九月二十七日、村公民館で行われ、大会での健闘を誓い合いました。

式では、大会に向けての出場計画やチーム強化計画が示されたほか、選手を代表して円谷政隆さん（東白川農商高校鮫川分校二年）が「昨年を上回る成績を目標に、村民の代表として頑張りたい」と決意を述べました。

鮫川村チームは、今年も中学・高校生を中心としたチーム編成となり、若い力で上位入賞を目指します。

村民の皆さんの応援をお願いします。


団長
根本　忠義
村教育長


監督
藤田　一夫
村体育協会長


コーチ
阿久津光市
会社員


コーチ
関根啓太郎
村体育指導委員会長


選手
緑川　勝寿
陸上自衛隊郡山


選手
石井　貴大
国士舘大４年


選手
中島　雅隆
上武大１年


選手
圓井　彰彦
田村高３年

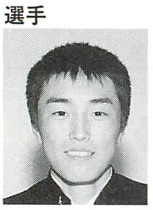

選手
小山田忠吉
学法石川高３年


選手
円谷　政隆
東白農商高鮫川分校2年


選手
戸村　和正
棚倉高２年


選手
清水　拓美
東白農商高鮫川分校1年


選手
前田　大樹
鮫川中３年


選手
鏑木　卓弥
鮫川中３年


選手
芳賀　徹郎
鮫川中３年

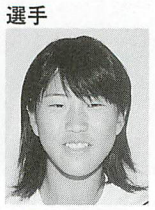

選手
圓井　靖彦
鮫川中３年


選手
矢吹　祐太
鮫川中３年


選手
矢吹　隆介
鮫川中２年


選手
坂本　和也
鮫川中１年


選手
前田あゆみ
鮫川中２年


選手
田中なつき
鮫川中２年


選手
前田　静香
鮫川中２年


選手
本郷　匠美
鮫川中２年


選手
青戸　明美
鮫川中２年


選手
大竹千奈美
鮫川中１年


選手
矢吹恵里香
鮫川中１年

1 NEWS 3千人が「食欲の秋」を満喫
第15回高原の鮫川うまいもの祭り

今年で十五回目を迎えた村の一大イベント「高原の鮫川うまいもの祭り」は十月二十日、鹿角平観光牧場で開かれました。

小雨が降りしきるあいにくの空模様となりましたが、村内外から家族連れや職場のグループなど約三千人が訪れ、鮫川牛のバーベキューを楽しみました。

会場には、特産品の青空市や試飲・試食コーナーなどが設けられ、鮫川の「うまいもの」を大いにアピール。また、特設ステージでは、ラジオ福島でおなじみの鏡田アナウンサー（かがちゃん）とハッピーチエちゃんの「爆笑ハッピートーク」、干草のステージ歌合戦、高原ＹＯＳＡＫＯＩ（よさこい）オンステージなど多彩な催しが繰り広げられ、参加者らは思い思いに秋の一日を楽しんでいました。


鮫川牛のバーベキューを楽しむ参加者

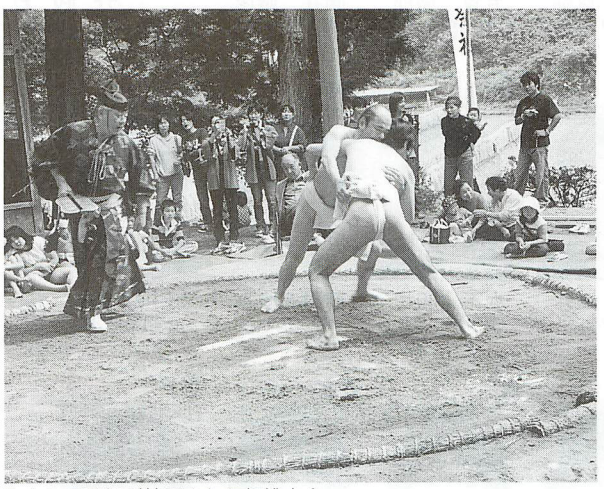

笑いを呼んだ「かがちゃん・チエちゃんの爆笑ハッピートーク」

2 NEWS 鎮守の森で「はっけよい」
赤坂西野区ふるさと相撲大会

赤坂西野区秋季祭礼の恒例行事「ふるさと相撲大会」は十月六日、名下地内の熊野神社境内で開かれました。

大会は、豊年山（矢吹弘さん）と満作山（高坂正紀さん）の初切相撲で幕を開け、ちらし相撲や飛び三人抜きのほか、横綱の土俵入りや弓取式などが次々と披露され、詰めかけた相撲ファンを魅了しました。

また、西野小児童らによる「ちびっこ相撲」では、男子は学年別のトーナメントやブロック戦、女子はトーナメントによる「けんけん相撲」で熱戦が繰り広げられ、観衆から大きな声援が送られていました。


迫力ある取組が披露された相撲大会


大きな声援が送られたちびっこ相撲

3 NEWS

盆栽・山野草が一堂に

文化祭行事のトップ切り展示会



見事な作品が並んだ展示会

村文化祭関連行事のトップを切って、十月十六日から十八日までの三日間、「盆栽・山野草合同展示会」が開かれました。

盆栽・山野草両愛好会の主催で、丹精込めて手入れされた盆栽六十点、山野草六十点が会場いっぱいに並び、訪れた人たちの目を楽しませていました。

なお、盆栽の部で大竹茂さん（西山）、山野草の部で大竹華子さん（同）の作品が村長賞に輝きました。

4 NEWS

運動の必要性や方法を学ぶ

健康体操教室「中高年の健康づくり」



健康づくりのための体操を学ぶ参加者

健康体操教室「中高年の健康づくり」は十月二日、トレーニングセンターで開かれました。

四十歳以上の約三十人が参加。県国保連合会派遣講師の深倉英子先生が講師を務め、健康体操の概要を説明したあと、ウォーキングやストレッチ体操、筋力トレーニングなどの実技を指導。参加者らは、中高年からの運動の必要性や正しいトレーニングの方法について学び、健康づくりへの理解を深めました。

5 NEWS

渡瀬チーム、試合楽しむ

ねんりんピック・ゲートボール交流大会



ねんりんピックに出場した渡瀬チーム

十月十九日から二十二日まで県内を会場に開かれた「第十五回全国健康福祉祭ふくしま大会（うつくしまねんりんピック2002）」のゲートボール交流大会に、県代表として渡瀬チームが出場しました。

渡瀬チームは二十日、矢吹会場の予選リーグで大阪府、仙台市、香川県代表チームと対戦。惜しくも予選通過は果たせませんでしたが、はつらつとしたプレーで試合を楽しんでいました。

6 NEWS

平和と教育に役立てて

沖縄の上原さんから村に20万円



村からの感謝状を手にする上原さん（右）

「平和と教育に役立ててください」と、十月二十一日、沖縄県沖縄市の上原清善さん（83歳）が役場を訪れ、村に二十万円を寄付されました。

太平洋戦争で百五十人の戦友とフィリピンに渡り、わずか三人の生還者の一人となった上原さんは、生き残った感謝と平和を願う気持ちから、二十三年前に国内外への寄付活動を開始。「社会への恩返し」と、全国の自治体や学校などに教育資金や平和図書、沖縄特産のサトウキビなどを贈り続けています。

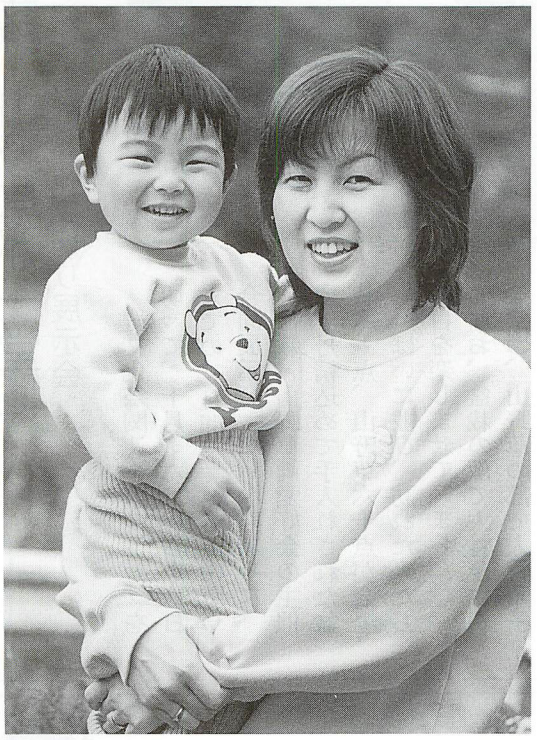
村民の皆さんが作るコーナーです。

みんなのページ

武藤仁子さん

Jinko Muto

むとう・じんこ●昭和49年7月生まれ。赤坂東野字内ケ竜在住。鮫川器機㈱勤務。趣味はショッピング。現在、一児の母親として子育てと仕事の両立に奮闘中。



村民［随想］リレー ㊿

子どもの優しい一言に感動しました。

先日、二歳半の息子と散歩に出かけたときのことです。どこからか泣き声が聞こえてきました。息子は、草むらの中を探し始めました。すると、二匹の子猫が体を寄せ合って泣いていました。それを見つけた息子は私に「パパもママもいないね」と言い、子猫を抱いて「たー（息子）がママになる」と言い出しました。私は驚いた反面、すごくうれしい気持ちでいっぱいになりました。

最近のニュースでは、動物虐待などの悲しい出来事ばかり耳にしますが、人間と同じように動物たちにも大切な命があります。その大切な命を人間が失くしてしまうようなことは、絶対にあってはならないことだと思います。息子には、今のような思いやりのある優しい気持ちを忘れずに成長していってほしいと願っています。

子どもが大きくなるにつれ、子どもから教えられることがたくさんあります。私自身、子どもと共に成長していきたいと思います。

次は、鈴木晴之さん（赤坂中野）にバトンタッチ！

俳句

異状かと問答をして里省り　中井　恒峯
日盛りの移りたき顔石地蔵　金沢　暁舟
大菊を咲かせんとして鉢並ぶ　山本　朗史
五十路坂母の佗しさ身に入(し)む夜　矢部　正子
秋刀魚焼くこの幸せのいつまでか　鈴木　友蔵
まんじゅしゃげあの道この道帰りきぬ　斎須　信子
台風に倒れし稲架や水浸し　小山田清哲
百六十粒頭垂れ込む「ふくみらい」　北條素人坂
人知れず山に息づく萩の花　黒田　寿香
アフガンの童にりんごあげたら泣くだろな　山本五十鈴

短歌

道の辺に落ち栗見るも学童ら拾わずに通る時代の流れか　蛭田　浩市
山野草展示の仲間ら寄り合いて管理あれこれ研鑽の暮れ　森　芳子
庭の花ばな一夜の嵐に倒されぬそっと起こすも支柱を立てて　増子　紗久
来年があるから農に励めると減反にも怯まぬ老の幾たり　大平　太平
小泉内閣改造済みて仲秋の名月ややにかすみがちなり　前田　初
歌作り思うようにはゆかぬとも楽しくなりぬ指折り乍ら　蛭田　光江
墓みちの土手一面に彼岸花霊の宿りて華やぐ如し　坂本　雪絵
夫を偲ばす遺木の一つ金木犀今

情報の泉

わくわく

WAKU－WAKU

募集

●鮫川村青年会 会員募集 鮫川村青年会では、意欲のある会員を募集しています。／対象…村内に住所がある18歳以上の青年（男女）／募集期間…随時／会費…年1,000円／主な活動…ボウリング大会、ボランティア活動（ゴミ拾い）、成人式協力、スポーツ研修(スキー、スノーボードなど)／連絡先…会長・矢吹智広（役場総務課内、☎0247-49-3111）または事務局長・矢吹清勝（役場環境衛生課内、☎0247-49-3196）

●福島県勤労者文芸コンクール 作品募集 応募資格…県内事業所に勤務している労働者／部門…詩(１人２編以内)、短歌(５首以内)、俳句(５句以内)、川柳(５句以内)／募集期限…11月30日(土)当日消印有効／応募先…福島県労政協会・勤労者文芸コンクール係(〒960-8670 福島市杉妻町2-16 県雇用労政課内)／応募方法・応募上の注意などの詳細…☎024-521-7296、FAX024-521-7932

案内

●アクアマリンふくしま企画展 Eggs of Artist 卵からアーティストが生まれた 「水」「風」「光」をテーマに、絵画・彫刻・生け花・家具・映像・ジュエリーなど、あらゆるジャンルのアートを展示／期間…12月16日(月)まで／場所…アクアマリンふくしま／入館料…一般1,600円、小～高校生800円／詳細…☎0246-73-2525

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで。



セピア色の思い出 ㉞

昭和26年11月

郡養蚕中堅青年大会 鮫川支部優勝記念

提供／鷲野谷満さん（富田字二反田在住・85歳）

昭和二十六年十一月二十五日、棚倉町において東白川郡養蚕中堅青年大会が開催されました。大会では、郡内各支部の活動体験発表が行われ、鮫川支部が優勝を果たしました。この写真は、村公民館で行われた優勝旗披露式（祝賀会）の記念に撮影されたものです。

当時、養蚕は年四回のまとまった収入が得られることから、村の重要な産業として奨励され、村内のほとんどの農家で行われていました。（鷲野谷）

土手上に咲き盛るなり　関根　米子
入学記念に植えし木ササゲ台風に折られて子への思い出も去る　根本　恵智
哀切の限りの文章立ち読みす伊藤淳氏が死を選びたり　芳賀　常夫
茶を喫みて語れる朝は張りもあり齢を思わせぬ友の明るさ　松本　由起
別れいし友を訪ねてゆく道に何故に遮る藪蚊の一つ　関根　瑞恵
老人はひしめき合って長寿国年金は減り負担は増えて　松本　一郎
佛壇にグラジオラスの花供え亡き夫偲ぶ朝の一とき　岡部　シゲ
統合をしてまで競争強いる親わが子は絶対おちこぼれぬか　関根キヌ子
秋深み彩り増せる山々は自然が描く絵画と見惚る　前田喜三子
秋最中ゲートボールの大会に老等の声は天まで響く　赤坂　朝子
犬に引かれて行く散歩道端に咲いていた花は昨年と同じ　前田　栄美
バスの中他人を気にせず女子高生大声で話す携帯電話　鈴木　クニ
汗を拭くタオルをとれば旅が顕つ二泊三日の宿の名入りに　北條　平
盆までと焦りし松の剪定を終わりて庭の景は明るし　杉山イソ子
山裾に揺れるすすきも何時の間にふんわりとして日暮れに白し　須藤美代子
老いの身に無理かと思いつ参加する妙高高原の名峰に引かれて　鷲野谷　満

11月号 くらしの情報 INFORMATION

いきいき生活、応援します。

募集

マーガレット先生の英会話教室参加者募集

日時 11月11日(月)・14日(木)・18日(月)・21日(木)・25日(月)の5回 午後6時30分～8時
場所 村公民館
対象 村内在住の一般成人（中学生以上）20名
内容 簡単な英会話（日常英会話、旅行に役立つ英会話）
講師 語学指導助手 マーガレット・ルック先生
申し込み 11月6日(水)までに、電話・ファックスなどで村公民館に申し込んでください。
問い合わせ 村公民館☎49-3151、FAX49-3152

案内

ふくしま大卒等合同就職面接会

日時・場所 ①郡山会場…11月13日(水) 午後1時～4時・ホテルハマツ（郡山市虎丸町）②いわき会場…11月14日(木) 午後1時～4時・グランパルティいわき（いわき市平谷川瀬字明治町）
対象 平成15年3月卒業予定の大学・短大・高専・専修学校・公共職業能力開発施設の学生（平成14年3月卒業者も参加できます）
問い合わせ 福島県雇用労政課☎024-521-7212、福島労働局職業安定課☎024-528-0254

青色事業所得者等決算説明会

白河税務署では、平成14年分の所得税の確定申告に向けて、次により「青色事業所得者等に対する決算説明会」を開催します。ぜひ、ご参加ください。
日時 11月27日(水) 午前10時～11時30分
場所 塙町公民館（塙町桜木町）
問い合わせ 白河税務署☎0248-22-7111

役場の電話番号

0247-49-3111（代表）

ファクシミリ	49-2651

ホームページ
http://samegawa.site.ne.jp/
Eメール
samegawa@ninus.ocn.ne.jp

【直通電話番号】

総務課	49-3111
住民課	49-3112
健康福祉課	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
建設課	49-3116
環境衛生課	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
公民館	49-3151
農業者トレーニングセンター	49-3295
鮫川幼稚園	49-2358
学校給食センター	49-2113
鮫川保育所	49-2056
渡瀬保育所	48-2050
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555

いきいき健康通信

むし歯のない小・中学生は49人

11月8日は「いい歯の日」です。
さて、今年度の小・中学校歯科健診で、むし歯がなかった（永久歯に限っては治療をしたこともない）児童・生徒は、合わせて49人いました。
今月は、「いい歯」の子どもたちを紹介します。

■青生野小（4人）
長久保恵里（1年）長井静香（4年）長井一樹（5年）生田目愛弓（6年）

■渡瀬小（3人）
下重成美(5年)蛭田光（6年）藤田睦美（同）

■富田小（1人）
坂本誠也（6年）

■西野小（3人）
田子拓人（4年）北條賢矢（6年）増谷友里恵（同）

■西山小（6人）
森岡美奈子（1年）高野安由美(2年)芳賀明日香(同)高野祐樹（4年）松崎清訓（6年）大竹良子（同）

■鮫川小（6人）
高野恭平（1年）進士陽平（同）芳賀和也（2年）芳賀理宰(4年)田子博史(5年)塩田正輝（6年）

■鮫川中（26人）
大池義尚（1年）飯島彩香（同）篠崎優（同）矢吹保奈美（同）高木栄作（同）中川西和大（同）矢吹康平（同）吉成学（同）根本麻美(同)舟木千尋（同）若林里砂（同）塩田寿弥（同）大平成美(同)三瓶雄二(2年）矢吹亮（同）岡部智恵（同）塩田夏美（同）進士智加（同）前田静香（同）矢吹さおり(同)円谷久(3年）若林正文（同）近藤功一（同）舟木司（同）吉田喜之（同）佐藤裕子（同）

環境

基準外の焼却炉は使用できなくなります

法律が改正され、12月1日から次の基準を満たしていない焼却炉の使用が禁止されます。

家庭用焼却炉や事業所の小型焼却炉など、すべての焼却施設が対象となりますが、現在市販されている家庭用小型焼却炉のほとんどは、この基準を満たしていません。

また、農家が行う稲わらなどの焼却、キャンプファイヤーなどの例外を除き、野外での廃棄物の焼却は禁止されています。

基準 ▼ゴミを燃焼室で800度以上の状態で燃やすことができる▼焼却に必要な量の空気が供給できる（送風ファンなど）▼外気と遮断された状態でゴミを定量ずつ燃焼室に投入できる（二重扉など）▼燃焼室の温度を測定できる装置がある▼燃焼ガスの温度を保つための助燃装置がある（二次ガスバーナーなど）

■問い合わせ 村環境衛生課環境係☎49-3196

消防署から

11月9日～15日 秋季全国火災予防運動

「消す心　置いて下さい　火のそばに」を統一標語に、11月9日（土）から15日（金）まで「秋季全国火災予防運動」が実施されます。

村内では今年、建物火災が2件、林野火災が1件発生しています。一人ひとりの「火の用心」で、火災予防を心がけましょう。

老朽化消火器の回収 消火器の破裂事故を防止するため、火災予防運動期間中に老朽化した消火器（購入後8年以上が目安）を1本500円で回収しますので、鮫川分署までご持参ください。

■問い合わせ 棚倉消防署鮫川分署☎49-2119

国民年金Q&A

問 現在、特別支給の老齢厚生年金（60歳以上65歳未満の厚生年金）を受けていますが、過去に国民年金保険料を納めていた期間があります。今年65歳になりますので、国民年金を請求するにはどのような手続きが必要ですか。

答 特別支給の老齢厚生年金を受けている人は、65歳の誕生月（誕生日が1日の場合はその前月）に社会保険業務センターから「国民年金・厚生年金保険老齢給付裁定請求書」（ハガキ様式）が送られてきますので、その月の末日までに役場で住民票に記載されている旨の証明を受け、返送すれば国民年金分が上乗せされます。

■問い合わせ 村住民課国保年金係☎49-3112

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介



ねこと友だち（いとうひろし作、徳間書店）…のら猫として生きてきたブータレが、金魚ばちのお魚たちと友だちになった。はじめてできた友だちを大切に思うことで、新しいなやみをせおった猫の姿をえがく感動の物語。



中年まっさかり（永井愛著、光文社）…「青年」と「老年」の中間だから「中年」だとするネーミングは何だか当座しのぎのようだけど、その「中年」にまつわるマイナスイメージも「おう、その通り」と引き受けて、この年代を血気盛んに走り抜けたいというエッセイです。

お誕生

9月届け出分・敬称略



溝井　椋（みぞい　りょう）／女
平14. 8.25生
住所／茅
保護者／賢一・真澄



田子　愛菜（たこ　あいな）／女
平14. 8.24生
住所／真坂
保護者／聡・晴美

おくやみ

9月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
大沢	関根　芳包	9. 5	51歳
青生野	岡部　實	9. 7	76歳

人の動き

10月1日現在・（　）は前月比

人口	4,663人	(－ 5)
男	2,310人	(－ 5)
女	2,353人	(± 0)
世帯	1,118戸	(＋ 1)

寄付

9月受理分・敬称略

▶社会福祉事業のために（金員）…
岡部昭男（青生野）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●訂正とおわび

10月号の7ページ中、氏名・年齢に誤りがありました。ここに訂正し、謹んでおわび申し上げます。

芳賀寛一さん（69歳）・タツ子さん（70歳）

編・集・後・記

生まれて初めて「先生」と呼ばれました。8～11ページに掲載の「子ども記者倶楽部」で子どもたちに広報紙づくりを教えることに。短い時間での作業ということで、うまく教えられるか心配な面がありましたが、二人の子ども記者は驚くほど仕事が速く、次々と作業をこなしていきました。私の3倍は速かったと思います。頭の回転の差を感じました。「先生＝先に生まれた人」でした。（舟木）

C A L E N D A R

生活情報カレンダー

日	曜	行事など	保健関係
11月			
1	金		
2	土	チャレンジスクールⅡ(子ども記者倶楽部)⑤…9:00～12:00 公民館	
3	日	青少年主張大会…10:00～12:30 公民館	㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 車田病院（塙町）☎43-1019 中島病院（石川町）☎26-3415
4	月	図書館休館日	㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 塙厚生病院（塙町）☎43-1145
5	火	図書館休館日	栄養教室・健康相談…世々麦集会所
6	水	親子人形劇観劇…10:00～11:00 公民館	栄養教室・健康相談…青生野集落センター
7	木		リハビリ教室…10:00～15:00 さぎり荘
8	金		社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～14:00 さぎり荘 母親教室…13:45～ 塙厚生病院
9	土	文化祭集中行事	
10	日	文化祭集中行事	㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 大野病院（石川町）☎26-1181
11	月	図書館休館日 英会話教室(一般)①…18:30～20:00 公民館	4か月・10か月児健診…13:30～ 塙厚生病院
12	火		栄養教室・健康相談…西山第一集会所
13	水		さくらんぼ教室…9:30～11:30 さぎり荘
14	木	日本語教室⑩…13:00～14:30 図書館 英会話教室(一般)②…18:30～20:00 公民館	栄養教室・健康相談…落合集会所
15	金		栄養教室・健康相談…折戸集会所 母親教室…13:45～ 塙厚生病院
16	土	西野小収穫祭	
17	日	ふくしま駅伝 親子読書教室⑦…9:30～11:00 図書館 ボランティア養成講座「お話の森」…14:00～15:00 図書館	㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 中島病院（石川町）☎26-3415
18	月	図書館休館日 英会話教室(一般)③…18:30～20:00 公民館	栄養教室・健康相談…大平集会所
19	火		リハビリ教室…10:00～15:00 さぎり荘
20	水	心配ごと相談 10:00～15:00 公民館 行政相談…13:00～15:00 公民館 保育所開放日(鮫川・渡瀬)	栄養教室・健康相談…岩野草育苗センター 肺がん(喀たん回収)検診…西野・西山・中野・東石
21	木	英会話教室(一般) ④…18:30～20:00 公民館	肺がん(喀たん回収)検診…富田・渡瀬・青生野
22	金		栄養教室・健康相談…塩倉集落センター
23	土		㊡勝田医院（棚倉町）☎33-3008 石川医院（塙町）☎43-0003
24	日	第13回村民駅伝競走大会…10:00 青生野小前スタート	㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 中島医院（塙町）☎43-0373 石川中央医院（石川町）☎26-2024
25	月	図書館休館日 英会話教室(一般) ⑤…18:30～20:00 公民館	乳幼児発達観察相談会…13:50～ 塙町公民館
26	火		栄養教室・健康相談…西部集落センター
27	水		栄養教室・健康相談…滝集会所
28	木	女性講座①…18:30～20:30 トレーニングセンター	栄養教室・健康相談…塚本ふれあいセンター
29	金		
30	土	チャレンジスクール⑥…9:30～ トレーニングセンター	
12月			
1	日		㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 木村医院（矢祭町）☎46-3528
2	月	固定資産税(4期)、国民健康保険税・介護保険料(6期) 納期 図書館休館日	
3	火		リハビリ教室…9:30～15:00 さぎり荘
4	水		栄養教室・健康相談…切払集会所
5	木		栄養教室・健康相談…前沼集会所
6	金		栄養教室・健康相談…中沢集会所 母親教室 13:45～ 塙厚生病院 住民健診事後指導会（貧血・高脂血症予防、17:30～18:30）・健康大学…18:30～20:30 トレーニングセンター

※㊡は休日当番医

広報さめがわ 平成14年11月号(第583号)
発行■福島県鮫川村 編集■総務課 〒963-8401 東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5 TEL0247-49-3111 FAX0247-49-2651